

平成25年(2013) 4月1日(月)

新ワクチン

平成25年 春号

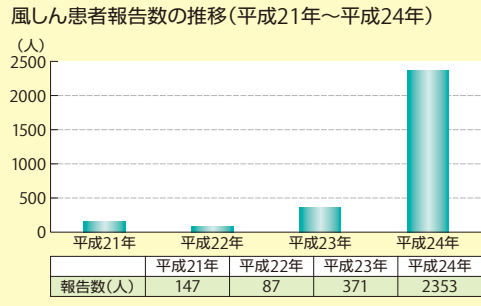
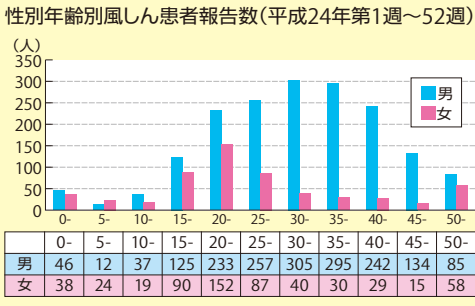
発行所 田辺三菱製薬株式会社
大阪府中央区
北浜2-6-18

監修:川崎医科大学小児科学教授 中野 貴司 先生
平成25年春号のトピックス
●風しんが流行中!
●麻疹風しんの予防接種を早めに済ませましょう
●結核の予防接種(BCGワクチン)
●日本脳炎の予防接種を受けましょう

風しんが流行中!

風しん患者はここ数年は少なかったのですが、平成24年は患者数が増加し、前年の6倍以上となりました。さらに、今年になってからも依然として流行が続いており、1月から2月中旬までの7週間で745例の患者が報告されています。

かかるまえにできること
免疫(抗体)を持っていない男性は、



国立感染症研究所感染症情報センター ホームページより

は風しんの定期予防接種の対象ではなかったため、風しんに対する十分な抗体がなかったと考えられます。抗体を持たない妊娠中の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに生まれつき難聴や心疾患などの障害が起ることがあります。これを「先天性風しん症候群」といい、感染が妊娠の初期だと高い確率で障害が起こります。これは、妊娠初期が胎児の臓器が形成される時期で、風しんウイルスの影響を受けやすいためと考えられています。

麻疹風しんの予防接種を早めに済ませましょう

予防接種には、法律に基づいて市区町村が主体となって実施する「定期接種」と、希望者が各自で受ける「任意接種」があります。接種費用は、定期接種は公費ですが(一部で自己負担あり)、任意接種は自己負担となります。

風しんの予防接種は、麻疹風しん混合(MR)ワクチンを定期接種として受けることができます。2回接種が基本で、1回目(1期)は生後1歳以上2歳未満、2回目(2期)は小学校就学前の1年間に接種を受けます。ただし、それ以外の年齢で接種を受ける場合は、特別な事情がない限り、任意接種の扱いとなります。

成人の場合は、任意接種となります。明らかに風しんにかかったことがない人、予防接種を受けたことがない人、抗体陰性又は抗体価が低いと確認できた人は、予防接種を受けることをお勧めします。なお、もし麻疹ワクチンを1歳以上で2回受けたことがない場合は、1回の接種で麻疹と風しんの両方を予防で

〈MRワクチン接種が不要な人、接種が勧められる人〉

対象者	ワクチン接種
風しんにかかったことが確実な人	不要
ワクチンの2回接種が済んでいる人	不要
明らかに風しんにかかったことがない人	接種が勧められる
風しんにかかったかどうか不明な人	
ワクチン接種が済んでいない人	
検査の結果、風しんの抗体価が低い人	接種が勧められる

※妊婦は風しんや麻疹などの生ワクチンの接種を受けることはできません。

●麻疹風しん混合(MR)ワクチンによる2回接種の対象者(定期接種)

- 1期 生後1歳以上2歳未満
- 2期 小学校就学前の1年間



きるMRワクチンの接種をお勧めします。風しんは特異的な治療法がありません。風しんの流行を防ぎ、先天性風しん症候群を防ぐためにも、**予防接種をきちんと受けることが大切です。**

結核の予防接種(BCGワクチン)

同じく定期接種であるBCGワクチンは、生後6ヵ月までに接種していただきました。しかし、最近では接種するワクチンの種類が増えたことなどの理由から、平成25年4月1日からは生後1歳までに接種するように予防接種法が改正されました。体調の良い日を選んで、生後5ヵ月以上8ヵ月未満で接種するようにスケジュールを立てましょう。

日本脳炎の予防接種を受けましょう

日本脳炎は他の感染症とは違い、蚊(コガタアカイエカ)にさされることでうつる病気です。さらされても症状が出ない人がほとんどですが、発症すると2割から4割が死亡し、命を取りとめても運動障害などの重い後遺症を残すことが多い、こわい病気です。しかし、ワクチンで予防できる病気ですので、接種をしていない人は予防接種を受けましょう。

●〈日本脳炎〉予防接種法に基づく通常の定期予防接種スケジュール

- 第1期(3回) 初回接種(2回):生後6ヵ月以上90ヵ月未満(標準として3歳) 追加接種(1回):初回接種後おおむね1年後(標準として4歳)
- 第2期(1回) 9歳以上13歳未満(標準として9歳)

【主な感染症がはやる季節】

月	春			夏			秋			冬			春			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
麻疹	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
風しん	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
みずぼうそう																
おたふくかぜ																
インフルエンザ																
感染性胃腸炎(ロタ)																
感染性胃腸炎(ノロ)																
ヘルパンギーナ																
手足口病																
咽頭結膜熱(プール熱)																
溶連菌感染症																
突発性発しん																

一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。

■ピーク時 ■通年

極的勧奨の差し控えて。その後新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになってきています。このため、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた人(平成25年に6歳から18歳を迎える人)で、平成17年度から21年度に日本脳炎の予防接種を受ける機会を逃した人は、早めに予防接種を受けましょう。また、平成25年度からは、平成7年4月2日から5月31日生まれの人にも案内の対象に追加されました。市町村からの案内に従って、予防接種を受けましょう。

予防できる病気には予防接種を!

新年度を楽しく過ごすために、かかるまえにできることそれは...